

# 第1回 東京高校生国際会議

Tokyo Highschool Student International Conference (THSIC)

【テーマ】日本における多文化共生社会へのアクション  
～東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けて～

令和元年12月15日(日) 9:30-12:00

参加者 生徒 150名程度

オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、台湾、  
タイ、東京等の高校生が参加!

※海外の生徒は、東京体験スクールにより来日した留学生です  
※応募者多数の場合は、抽選になります

会場 都立小石川中等教育学校  
(東京都文京区本駒込 2-29-29)



【Neil Boland 教授プロフィール】

国立オークランド工科大学教授。  
シュタイナー教育に関する国内、オーストラリア、北欧を含むアドバイザー委員会等に所属。

主な担当分野は、未来の教育、シュタイナー教育、芸術を通じた教育などがある。現在取り組んでいる研究は、教員と子供たちの創造力についての相関関係、ニュージーランドにおける幼少期の音楽教育、教育における精神性など。

Faculty of Society and Culture, Excellence in Teaching Award 等を受賞。

## ➤ 第1部：基調講演

“Experiences of Superdiversity in Auckland, New Zealand”

オークランド工科大学 (AUT) 教授 Dr. Neil Boland

## ➤ 第2部：分科会

【第1分科会】 “こんなサービスがあったらいい!” (ユニバーサルデザイン)

【第2分科会】 “災害時に助け合うための工夫” (防災)

【第3分科会】 “一緒にきれいな街を作ろう!” (ごみ・環境)

【第4分科会】 “外国人も日本人もみんなが楽しく過ごせる学校とは?” (教育)

※分科会では、事前に各自で考えたアイデアや意見をもとに、当日、グループに分かれてディスカッションし、発表を行います。  
※分科会の進行役は生徒が行います。  
※分科会の進行やディスカッションにおいては、東京体験スクールの引率教員や、ダイバース・リンクの協力者がサポートします。  
※分科会の詳細は、参加者に別途連絡します。

## ➤ 第3部：各分科会の総括および共同声明

### ～本会議の特徴～

- 原則として、**全て英語**で実施します!
- **海外大学の教授**によるレクチャーを体験できます!
- **様々な国の生徒**の考え方に触れ、ディスカッションできます!
- 自分ならどうするか。**主体的に考える、行動を起こすきっかけ**を掴めます!



【会場案内図】

